●広報 おぐに
2014 2
NO. 712

我が家のお陽さま シリーズ⑨

～寒さもへっちゃら！～

おぐにスポーツクラブＹｕｉ（舟山孝夫会長）が主催した親子サッカー教室が、１月19日、あいべを会場に開催されました。参加した親子など31人の皆さんは、サッカーボールを使って、チームごとボール運びリレーや的当てに挑戦するなど、寒さを吹き飛ばすように元気に走り回り、サッカーに親しんでいました。

伝統文化の継承

～町の豊かな未来を創造していくために～

近年は、社会情勢や人々の生活様式の変化などにより、これまで受け継がれてきた昔ながらの知恵が活かされた生活技術や年中行事などの伝統文化の縮小、衰退が危惧されています。このような中、町では本町が持つ豊かな生活様式、生活技術を次の世代に伝え残すためのさまざまな取り組みを展開しています。今月は、こうした取り組みを通して、伝統文化を継承していくことの大切さやその意味を考えます。

伝統文化の果たしてきた役割

伝統文化とは、遠い昔から先人たちが生活をしていくなかで会得し、さらに発展させながら脈々と受け継がれてきた生活様式や慣習、価値観、物づくりの技術などを言います。これまで、家庭や地域での共同作業、仕事、年中行事など、日常生活の中のさまざまな場面で継承されてきました。こうしたことは、先祖をうやまい、家族の絆を育むとともに、地域住民同士の交流を助長し、地域社会の維持や活性化へと結びついてきました。さらには、多種多様な作業を通じて、物を作り出す技術をお互いに高め合いながら、その技法を確立させてきました。

本町においては、広大な町土に広がるブナをはじめとした自然との関わり合いによって培われた「ぶな文化」が息づいています。人々は、この豊かで厳しい自然環境の中で、狩猟採集の生活を営み、森とともに生きるための生活の知恵を身に付けてきました。また、季節に対する感受性や自然と一体となって暮らす特有の自然観を育んできました。

時代の変化に伴う影響

しかしながら、現在は、そうした伝統文化を継承することが困難になってきているといえます。その原因として、全国的な人口減少の加速や少子高齢化の進行、地方の過疎化による生活様式の変化などが挙げられます。

従来、こうした文化は、その多くが農業を中心とした日々の営みや地域行事といった日常生活の中で培われ、親から子へと受け継がれてきました。しかし、農業の生産手法が変化したことや次代の担い手となる生産年齢層の都市部への流出が増加したことで日常的なつながりが減少し、伝統文化が受け継がれにくい環境となったことが影響していると考えられます。

昭和40年代の笠づくり（舘地区）

それに加えて、機械化による大量生産方式が主流となった現在は、安価な生活用品が普及し、簡単に物が手に入るようになりました。機械化は、生産能力を拡大するという長所のある反面、伝統文化として受け継がれてきた工芸や磨き上げられてきた特殊な技術などによる産業の継続に大きな影響を与え、後継者不足やその産業自体の衰退へとつながってしまうという短所を抱えていたともいえます。

次代へ継承していくための取り組み

小国町が現在あるのは、こうした伝統文化を礎としていることを踏まえ、現代に生きる私たちは、先人たちが築き上げてきた伝統文化を評価していく必要があります。また、それをどのように次世代へと引き継いでいくのかが大きな課題となっています。そのためには、家族や地域間のみならず広く町内外に対して、長い年月をかけて培われてきた知識や技を伝え残していくための機会と体験の場を設けていくことが重要です。

こうしたことから、町では、さまざまな伝統文化を広く普及させていくためのひとつの取り組みとして、平成22年から地域学講座を開講しています。

これは、町教育委員会が主催し、さまざまな分野で伝統技術や知識を有するかたがたを講師として、取り組みの過程を記録しつつ、幅広い年代層に伝え広めることを目的に開催しています。

今年度は、食や伝統技術をテーマとした講座を3回実施しました。

《祝い膳づくり》

祝い膳は、かつて結婚、出産、正月等の祝い事などの際に食されていました。田沢頭地区では、今年度、昭和50年発行の「小国地方の郷土食と行事食」（小国町開発研究会発行）を参考に、伝統行事食である「祝い膳」を再現するとともにその工程を記録し、後世へ伝えていこうという取り組みを始めました。

古来、こういった行事食は、年中行事や人生儀礼の際には欠かせないものでした。また、そうした場を共有することで人と人とを結びつける役割を果たしてきました。

するめえび、煮しめ、三杯酢などの献立が並ぶ「祝い膳」

しかし現在は、外食産業の拡大や嗜好が多様化してきたことなどにより、行事食が作られる機会はほとんどなくなってしまいました。

献立には、それぞれに意味や願いが込められており、暮らしの知恵に溢れた料理でもあります。この講座には、田沢頭地区女性部のかたがたが参加し、調理方法や盛り付けなどを忠実に再現しました。

《しめ縄とノサづくり体験》

しめ縄などの正月飾りは、家の繁栄や豊作などの願いを込めた縁起物として、年末年始にかけて家の玄関などに飾られます。正月飾りは、飾られる機会が減ったわけではないものの、ホームセンターなどで手軽に手に入るようになったことやワラが手に入りにくいことなどから、自ら作る人が減ってきています。

今回の講座では、作りかたを学ぶと同時に、作った正月飾りを自宅へ飾っていただき新鮮な気持ちで新年を迎えてもらおうと企画されました。

今回の講座で講師を務めた柳沢茜さん（伊佐領）は次のように話してくれました。

「自分で作ったしめ縄やノサは、農山村の貴重な伝統文化だと思います。これを飾って正月を迎えることで、あらためてこうした年中行事の良さを感じます。作りかたさえ覚えてしまえば、正月飾りに限らずさまざまな物を自分好みに作ることができますし、例え壊れても自分で直し、長く使うことができます。子どもから大人まで自由に昔ながらの物づくりを体験できる場所と日常的に伝統文化に触れるこうした機会をもっと増やすことが必要と感じています。自分の子どもにも教えていきたいです。」

正月飾りに用いられるしめ縄（左）とノサ（右）

柳沢 茜さんと娘の実羅ちゃん

《むしろ織り伝承講座》

むしろは、ワラなどを材料として編まれた敷物で、昔の農家の冬仕事として作られていました。かつては、人々の暮らしにとって必要不可欠な道具として、部屋の敷物や穀物などの天日乾燥の際に使用されたほか、二つ折りにして袋状に縫い合わせた「かます」として用いられるなど、大変重宝されました。

しかし、昭和30年代に入ると、ブルーシートなどの化学製品が普及しはじめたことで

むしろやむしろを織る織り機は姿を消し始め、さらにはむしろを織る技術自体が衰退してきています。

　今回のむしろ織り伝承講座に夫婦で参加した篠塚孝夫さんと奥さんの尚美さん（大石沢）は、次のように話してくれました。

「自宅の納屋に保管されていた道具が、前の家主が残していったむしろを織るための織り機だということがわかり、この講座を機会に覚えてみようと参加しました。昔の人々の、身の回りのものを無駄にしないよう工夫し生活に役立てるという考えかたが素晴らしいと思います。完成したむしろは、豆類を干す際に使いたいです。ワラ以外の材料を使って、織り機で別の物を作ってみるなど、若い人たちに新しい使いかたを提案してもらうのも良いのではないでしょうか。」

篠塚孝夫さんと奥さんの尚美さん

かつては生活に欠かせなかったむしろ

伝統文化の必要性

　文化財や伝統文化の保存にたずさわっている町教育委員会社会教育指導員の益田敏夫さん（岩井沢）は、こうした伝統文化を受け継いでいくことの必要性について、次のように話してくれました。

「現在の私たちの暮らしは、先人たちが長年の生活の中で培ってきたさまざまな伝統文化により確立されたものです。こうしたものを受け継いでこそ、次の時代を築いていけるのではないかと考えます。貴重な伝統文化を守るためには、それを体験し広げていくための機会を充実させていくことが必要です。また、白い森くらしの資料館にある昔ながらの道具などを、展示するだけでなく、講座や体験学習などに活用することも大切です。また、伝統食と物づくりを合わせた伝統文化体験ツアーといった企画も良いと思います。今の時代は、生活が豊かになった一方で、心の豊かさが不足してきているといわれています。昔ながらの物づくりの方法を学んだり年中行事などに参加したりすることで、真に豊かな生活を送ることができるのではないでしょうか。」

益田　敏夫　さん

町の豊かな未来を創造していくために

　時代が移り変わるにつれて人々の生活環境は変化していくことから、これまで受け継がれてきた生活文化や生活技術を全てそのまま受け継いでいくことは難しいかもしれません。

　しかし、これまでのさまざまな歴史の積み重ねにより文化が形成され、今の私たちの豊かな生活があると言えます。もう一度、こうした伝統文化を評価し見つめ直すことが、本当に豊かな町の未来につながるのではないでしょうか。

　町では、このような先人たちの知恵と技の結晶である伝統文化の継承に向けた取り組みを展開しつつ、その発展を図るための仕組みづくりを行い、新たな価値を持った文化の創造へと結びつけていく取り組みを推進していきます。

第7回 小国町議会臨時会

第7回小国町議会臨時会が、12月26日に開かれ、財産の取得に係る1議案が審議され、原案のとおり可決しました。内容は次のとおりです。

■スクールバス2台の取得について

平成26年4月の新小国小学校の開校及び学校統合に合わせた安全、安心な通学体制を確保するため、14人乗りスクールバス2台を取得することとしました。町内6業者による見積もり合わせの結果、㈲塩川自動車整備工場に落札決定し、7,336万6,696円で購入することとしました。

下大石沢地区に携帯電話基地局を開設

下大石沢地区（大字大石沢地内）にNTTドコモ携帯電話の基地局が完成し、1月上旬からサービスを開始しています。総事業費は18,736千円で、国、県の補助制度を活用して整備しました。完成した鉄塔施設は、通信業者に貸し出してサービスを提供しています。

これにより、これまで電波が届かなかったり安定していなかったりした下大石沢地区の一部エリアにおいて、NTTドコモの安定した通信・通話サービスを受けられるようになりました。

町中心部の町道において改良工事が行われています

右図の矢印で示した――箇所の町道緑町6号線において改良工事を行っており、現在、降雪期のため工事を中断しておりますが、2月下旬から舗装工事を行う予定です。

■工事期間

平成26年2月下旬～3月上旬

■完成予定

平成26年3月20日

大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

～問合先～

地域整備課建設技術室

（☎62－2432）へ

冬ならではの生活体験
小国町インターンシップ

小国町インターンシップの冬プログラムが、１月９日から12日にかけて、町内各地で行われ、町外の大学生３人が参加しました。

今回は、高齢者宅での除雪体験や無病息災を祈る行事「さいず焼き」への参加、郷土料理のからこ作りなどに挑戦しました。

３人は、小国の冬ならではの生活を体験し、雪国が抱える課題や文化の違いを実感しました。

町村から日本を元気に
町イチ！村イチ！

全国の各町村自慢の特産品などを一堂に集めた物産イベント「町イチ！村イチ！」が、１月11日、12日の２日間、東京国際フォーラム（東京都千代田区）で行われました。

全国から342町村が参加したこのイベントには小国町観光協会も出店し、漬け物や山菜加工品、つる細工などが販売されました。特に、山形地鶏と小国産きのこが入った「きのこ地鶏鍋」は、お昼過ぎに完売するなど小国の味を全国に広める良い機会となりました。

～町長室便り～
雨ニモマケズ⑮

「食育」が先き

盛田信明

新しい年が明けて早1カ月、「光陰矢の如し」と言いますが、いまさらながら時間の早さを感じずにはいられません。

今年の干支は、甲午（きのえ・うま）。午年は、何事においても飛躍発展の年と言われますが、前回の昭和29年は、奇跡とも言われた「高度経済成長期」の「はじまり」の年でした。同年、学校給食法が公布されました。私は、「人づくりこそ町づくり」と常々思っておりますが、その基本は、何といっても食育であると考えます。私の重要な公約のひとつにも「小中学校の完全給食の実施」を掲げ、昨年６月から叶水小中学校の給食を実施することができました。そして本年４月には、新小国小学校の開校に合わせ、小国中学校での給食も開始します。昨年12月18日には叶水小中学校、１月23日には沖庭小学校で、私も子どもたちと一緒に給食を食べました。学校生活などの話をしながら、みんなで一緒に食べる給食は、楽しいひとときでした。学校給食法の公布から60年目にして本町でも完全実施できるのは、意義深いものと考えます。

さらに今年は、新町誕生（１町２カ村合併）から60周年の節目の年であります。まさに、小国町の新時代の幕開けであり、教育の新たな歴史の始まりです。小国の次代を担う子どもたちが、ふるさとに誇りを持てるような教育環境の整備を一層進めてまいります。

12/18の叶水小中学校での給食

1/23の沖庭小学校での給食

2月7日㈮～3月17日㈪
町・県民税の申告相談を行います

平成26年度分の町・県民税申告相談を行います。申告期限は3月17日までですので、忘れずに申告してください。

町・県民税の申告が必要なかた

申告が必要なかたは、「平成26年1月1日現在で、小国町に居住されているかた」です。

ただし、次に該当するかたは、町・県民税申告書の提出を省略することができます。

▽税務署に確定申告書を提出したかた

▽年末調整済みの給与収入のほかに収入のないかた

※申告書が送付されないかたでも、平成25年中に収入があったかたや年末調整済みの給与以外に所得があったかた、各種所得控除を受けたいかたなどは、申告の必要があります。

平成25年中まったく収入がなかったかたは？

申告書右上に「収入なし」、合計所得欄に「0」と記入し氏名欄に押印のうえ提出してください。

特に、次のようなかたは忘れずに申告してください。

▽国民健康保険加入者または加入予定者及びその世帯主

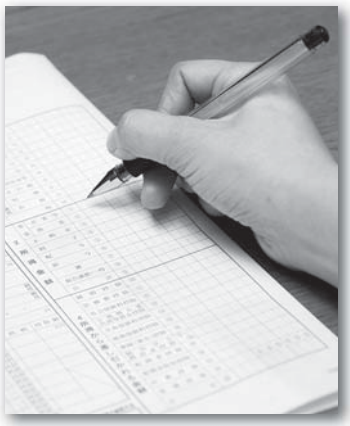
▽後期高齢者医療保険加入者及びその世帯主

▽介護保険加入者及びその世帯主

▽国民年金免除申請をお考えのかた

▽所得や税関係の証明書が必要なかた

※障害年金や遺族年金は町・県民税の算定には含まないため、申告する収入、所得金額に記載しないようご注意ください。この収入のみのときは、収入なしの申告でかまいません。



申告に必要なもの

①申告書及び印鑑

②収入と支出が確認できる書類

◇給与・公的年金収入
平成25年分の源泉徴収票

◇営業・不動産収入
収支内訳書、売り上げや仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など

◇農業収入
収支内訳書、農産物の出荷伝票、仕切書、領収書、借入金利子証明書、新しく購入した農機具などに関する書類、補助金、交付金、保証金等の収入が確認できる書類、取扱い通帳など

◇雑収入・一時所得
支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類

◇譲渡所得
売買契約書や経費の領収書、公共事業による買取の場合は3枚組の収用証明書など

③所得控除を受ける場合に必要な各種証明書や領収書、支払金額を証明する書類など

④通帳など、申告者本人の口座が確認できる書類

2月7日㈮は「収入が年金のみ」のかたの相談日です

今年度は、待ち時間の軽減を図るため「収入が年金のみ」のかたを対象とした申告相談日を設けました。地区に関係なく、対象となるかたはぜひご利用ください。（ご都合がつかない場合は、他の日程でも申告相談を受けることは可能です）

なお、年金以外の収入があるかたは、地区の相談日または休日相談日等においで下さいますようご理解とご協力をお願いいたします。

平成26年度分　町・県民税　申告相談受付日程

月　日		相談会場	午前		午後	
			受付時間	地　区	受付時間	地　区
2月 7日	金	役場大会議室	9時～11時	全地区（年金収入のみのかた対象）	1時～4時	全地区（年金収入のみのかた対象）
2月10日	月	役場大会議室	9時～11時	小国町1・2	1時～4時	坂町1・2
2月12日	水	役場大会議室	9時～11時	緑町1	1時～4時	緑町2
2月13日	木	役場大会議室	9時～11時	駅前1・2	1時～4時	栄町1・2
2月14日	金	役場大会議室	9時～11時	上岩井沢	1時～4時	幸町2
2月17日	月	役場大会議室	9時～11時	本町3、幸町1	1時～4時	本町1・2
2月18日	火	役場大会議室	9時～11時	坂町3・5	1時～4時	地蔵町
2月19日	水	役場大会議室	9時～11時	町原	1時～4時	東原
2月20日	木	役場大会議室	9時～11時	松岡	1時～4時	あけぼの
2月21日	金	役場大会議室	9時～11時	綱木箱口	1時～4時	伊佐領
2月23日	日	役場大会議室	9時～11時	休日相談	1時～4時	休日相談
2月24日	月	役場大会議室	9時～11時	旭町、小芦	1時～4時	北、西
2月25日	火	役場大会議室	9時～11時	平林	1時～4時	増岡
2月26日	水	役場大会議室	9時～11時	種沢	1時～4時	大滝
2月27日	木	役場大会議室	9時～11時	岩井沢1	1時～4時	岩井沢2
2月28日	金	役場大会議室	9時～11時	兵庫舘1	1時～4時	兵庫舘2
3月 3日	月	役場大会議室	9時～11時	大宮、宮の台	1時～4時	田沢頭
3月 4日	火	役場大会議室	9時～11時	小渡	1時～4時	舘
3月 5日	水	役場大会議室	9時～11時	尻無沢	1時～4時	舟渡
3月 6日	木	役場大会議室	9時～11時	今市	1時～4時	若山、古田、金目
3月 7日	金	梅花皮荘	9時30分～11時	小玉川、泉岡	1時～3時30分	長者原、玉川中里
3月10日	月	玉川高齢者コミュニティセンター	9時30分～11時	玉川、玉川新田	1時～3時30分	中田山崎、片貝
3月11日	火	水源の郷交流館	9時30分～11時	上叶水、下叶水	1時～3時30分	新股、河原角、上大石沢、下大石沢
3月12日	水	越中里公民館	9時30分～11時	越長	1時～3時30分	六ヶ字
3月13日	木	旧白沼小中学校	9時30分～11時	白子沢、桜沢、間瀬、明沢	1時～3時30分	沼沢1・2
3月14日	金	足中克雪センター	9時30分～11時	足水中里、樽口	1時～3時30分	足野水、市野沢、百子沢
3月17日	月	りふれ	9時30分～11時	三ヶ字、石滝	1時～3時30分	五味沢

申告相談に関する相談が必要なかたは、できるだけお住まいの地区相談日においで下さるようにご協力をお願いします。なお、お住まいの地区相談日にご都合がつかないときは、ほかの地区の相談日においでいただいても差し支えありませんが、休日相談日や最終日など日によって混み合う場合もありますので、ご了承ください。

◇◆◇**問合先**　町民税務課税政管理室（☎６２－２４０３）へ◇◆◇

安全な消防団活動を願って
～小国町消防団出初め式～

小国町消防出初め式が、１月５日、総合センターで開催され、町消防団員など約100人が出席しました。

今年１年の町と消防団活動の安全を願って祈願祭が行われた後、小国町消防団の伊藤孝太郎団長が、「各分団同士で連携しながら、町民の安全安心な生活のために活動をしてほしい。」と訓示を述べました。

このほか、団員らがポンプ車に乗り込み、火災予防啓発のパレードを行いました。

さらなる飛躍を誓い合う
～新春賀詞交歓会～

新春賀詞交歓会が、１月７日、白い森ショッピングセンターアスモで開かれました。

これは、町商工会やＪＡやまがた、町森林組合、町による実行委員会（実行委員長：舟山栄二商工会長）が毎年主催し開催しているもので、今年は町内事業所等から約90人が参加しました。

舟山実行委員長は「地域産業のさらなる発展のために、小国に秘められた可能性を見出していきたい。」とあいさつしました。

参加者は、年頭のあいさつを交わしながら、町のさらなる飛躍を誓い合いました。

地域資源のさらなる活用へ
～ここ掘れ和ん話ん探検隊活動報告会～

NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊（吉田岳理事長）の今年度の中間活動報告会が、1月17日、白い森ショッピングセンターアスモで行われ、関係者など約20人が出席しました。

報告会では、今年度実施してきたトレッキングや自然体験ツアー、伝統文化体験などといった各イベントの結果報告が行われました。

また、さらに今後の活動を推進していくために、森林セラピストやセラピーガイド資格取得者とのさらなる連携の必要性や情報発信の重要性について提言されました。

横根で身につけたテクニックで活躍を
～ソチ五輪ハーフパイプ男子代表の平野歩夢（ひらのあゆむ）選手が横根で練習～

２月にロシアで開催されるソチ冬季五輪スノーボード・ハーフパイプ男子代表の平野歩夢選手が、１月に横根スキー場で最終練習を行いました。

平野選手は、新潟県村上市出身の15歳で、村上第一中学校３年生です。４歳でスノーボードを始め、その頃からハーフパイプが設置されている横根スキー場へ通い続け、現在まで練習を重ねてきました。

今年の８月にニュージーランドで行われたワールドカップ開幕戦で優勝しており、ソチ五輪でも活躍が大いに期待されます。

平野選手は、「ずっとオリンピックを意識して練習を続けてきました。世界中からトップクラスの選手が集まるオリンピックに出場できるのは、とてもうれしいです。この大舞台で練習の成果を発揮したいと思います。目標は金メダルです。」と力強く話してくれました。

スノーボード・ハーフパイプ男子は、２月11日に予選が実施され、12日未明に準決勝、決勝が行われる予定となっています。

シリーズ 協力隊通信⑨

「てづくりの時間」

緑のふるさと協力隊

樽　川　　美　穂

小国で作った「てづくりのもの」

「雪はいやだ」とか「この季節は気持ちが暗くなる」と雪の季節を嘆く声が口々に聞こえてきます。でも、絶対に良いことがありますよね。初めての雪の季節を迎えた私は、根雪になったころから今までにない落ち着いた気持ちを感じています。このあいだ、叶水で「もんぺ」を手作りしました。わざわざ時間をかけなくても買えばいい。作る時間がない。そんな暇があったら寝たい。ここに来る前の私だったらそう言っていたと思います。お店で買っていたお菓子や飲み物も、今では手作りすることが増えました。アケビのつるでかごを作るために、半日かけて山まで取りに行き、芽をとり、太さの同じようなつるを選び､それから編む。そんな手作りできる「時間」を得ています。

世の中は、安くて便利なもので溢れています。便利を上手く活用することは大切ですが、不便を楽しむことはもっと大切です。私は、雪のおかげで自分自身の生活と向き合う時間が増えました。大量の雪が降るというマイナスと思われることから、自分の生活と向き合う時間というプラスが生まれる。本当の豊かさってこういうことなんですね。雪国の良いところ、またひとつみつけました。

お知らせコーナー

募集

健康管理センター展示作品募集

高齢者等の生きがいづくりをより活発にするために、展示作品を町民から広く募集します。

■**展示期間**　平成26年4月から平成27年3月のうちで2週間程度ごとに展示します。

■**展示場所**　健康管理センター入口ロビー

■**申込期間**　2月3日㈪から2月28日㈮まで

■**募集作品**　書道、絵画、陶芸、写真、合同でつくった大きな作品など

■**申込・問合先**　健康福祉課へ

県営住宅入居者募集

■**募集住宅**　3DK　2戸

■**家賃**　所得により決定

■**対象**　同居親族がいるかた（所得制限あり）

■**敷金**　家賃の3カ月分

■**募集期限**　2月14日㈮

■**入居時期**　3月下旬

■**問合先**　県営住宅指定管理者㈱西王不動産置賜事務所（☎24-2332）へ

西置賜地域チェーンソー目立て講習会

■**日時**　3月14日㈮　午後1時30分～

■**場所**　置賜総合支庁西庁舎5階講堂（長井市高野町2-3-1）

■**内容**　チェーンソーの安全作業について（講義）、チェーンソーのメンテナンスについて（実技・実演）

■**定員**　30人

■**参加費**　無料

■**申込締切**　3月7日㈮

■**その他**　▽当日は、所有しているチェーンソーとメンテナンス道具（丸やすり、平やすり、工具、清掃道具、軍手）、防寒着をお持ちください。▽汚れても良い服装でお越しください。

■**申込先**　置賜総合支庁森林整備課普及担当（☎26-6063）へ

ご案内

置賜地域の県税課税事務を本庁舎に集約します

平成26年4月から、分庁舎（長井市）で行っている県税の課税事務を本庁舎（米沢市）に集約します。ただし、次の事務は4月以降も分庁舎で継続します。

▽**課税部門**　①不動産取得税のうち土地、中古建物取得分　②軽油引取税の免税に関する申請及び交付　③自動車税の身体障がい者等減免申請の受付

▽**収納部門**　これまでと変わりありません。

■**問合先**　置賜総合支庁税務課西置賜税務室（☎88-8209）へ

知財総合支援の相談窓口

■**相談内容**　特許や商標の出願手続き方法や費用など

■**開設場所**　一般社団法人山形県発明協会

■**相談料**　無料

■**専用電話**　☎05570-08-2100へ

あいべイベント「野球体験会」

■**日　時**　2月22日㈯　9：00～11：30

■**場　所**　あいべ

■**持ち物**　シューズ、タオル、飲み物、帽子、てぶくろ、グローブ（持っている人）

■**参加費**　100円（保険料込み）

■**問合先**　おぐにスポーツクラブYui（☎62－5808）へ

平成26年度　男女共同参画週間　キャッチフレーズを募集しています

■**内　　容**　男性がもっと家事・育児・介護・地域活動に関わりたくなるようなキャッチフレーズ

■**募集締切**　2月28日㈮まで

■**応募方法**　内閣府男女共同参画局ホームページの応募フォームから

■**結果発表**　4月中旬（予定）に入賞者へ通知

■**そ の 他**　詳細は内閣府男女共同参画局ホームページをご覧ください。

今月の出前町長室　17日㈪17:00～19:00、28日㈮10:00～12:00

【アスモ街なか情報ステーション】　※日程が変更になる場合は、アスモ掲示板でお知らせします。

町長室専用メール　shiroimori@town.oguni.yamagata.jp　町長室専用FAX　0238(62)2611

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆
■**日　時**　2月4日、18日（子育て講座・子どもの病気を知ろう）、25日　午前10時～11時30分
■**場　所**　健康管理センター
■**対象者**　0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆
■**日　時**　2月6日、13日、20日、27日　午前10時～11時30分
■**場　所**　アスモ多目的ホール
■**対象者**　0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆赤ちゃん広場☆
■**日　時**　2月13日、27日　午後1時～午後3時30分
■**場　所**　おぐに保育園
■**対象者**　生後4カ月から18カ月のお子さんとお家のかた

☆ゆきんこ広場☆
■**日　時**　2月3日、10日、17日、24日　午前10時～11時30分
■**場　所**　健康管理センター
■**対象者**　0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆
■**日　時**　2月8日㈯　午前9時30分～正午
■**場　所**　健康管理センター
■**内容と対象者**　親子料理教室、親子で体操　概ね2歳からのお子さんとお家のかた
※要申込
■**問合先**　子育て支援センターへ

2月の保健カレンダー

1．各健診の日程等

■**4カ月児健診**
・期　　日　2月28日㈮
・受付時間　13：10～13：20
・対　　象　平成25年10月生まれ

■**1歳児健診**
・期　　日　2月28日㈮
・受付時間　13：00～13：10
・対　　象　平成25年2月生まれ

■**2歳児歯科健診**
・期　　日　2月26日㈬
・受付時間　13：00～13：15
・対　　象　平成23年6月、7月、8月生まれ

2．場　所　健康管理センター
3．その他　母子健康手帳を持参ください。
4．問合先　健康管理センターへ

求人情報

右の表は1月24日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84－8609）へ。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
置賜総合支庁西庁舎	事務補助員	1人	8:30～17:15
安部工業㈱	一般作業員	1人	8:00～17:00
	型枠大工	1人	
第一ホール小国店／㈲コンズカンパニー	ホールスタッフ【急募】	3人	8:30～16:15ほか
大河内産業㈲	ダンプ、重機運転士	3人	8:00～17:00
	砂利プラント運転士、他	3人	
	一般事務員	2人	
㈱山芳工務店	電気設備施工管理【急募】	2人	8:00～17:00

※今月は、1月以降に登録された求人を掲載しています。

今月の納税　2014.2

2月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●**2月26日㈬**　水道料
●**2月28日㈮**　国民健康保険税、後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■**問合先**
町民税務課税政管理室へ

つめかんじきづくり教室

■日　　時　２月15日㈯
　　９：00～16：30ころまで
■場　　所　総合センター
■対　　象　一般
■定　　員　10人
■参 加 費　３，０００円
■申込期限　２月12日㈬まで

メープルサップ採取と冬の森林散策

■日　　時　３月２日㈰
　　10：00～16：00ころまで
■開催場所　総合センター、経塚山周辺
■集合場所　総合センター10：00集合
■対　　象　一般、親子
■定　　員　20人
■参 加 費　１，０００円
■申込期限　２月26日㈬まで

黒沢峠スノートレッキング

■日　　時　３月８日㈯
　　９：30～16：30ころまで
■開催場所　黒沢峠
■集合場所　総合センター駐車場９：30集合
■対　　象　一般、親子
■定　　員　20人
■参 加 費　１，０００円
■申込期限　３月５日㈬まで

～申込み・問合先～
NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
（☎０５０－７５０７－５９５５）へ

総合センター図書室から

～新着図書～　　・・・休館日・・・　毎週月曜日・祝日

◇疾風ロンド	東野圭吾
◇楽しく学ぶ書道入門	鈴木小江
◇明日もいち日、ぶじ日記	高山なおみ
◇手のひらの砂漠	唯川恵
◇寄る年波には平泳ぎ	群ようこ

相　談

▽年金相談

■日　時　２月19日㈬
　　10：30～14：00
■場　所　役場町民相談室
■対応者　米沢年金事務所職員
■申込み　事前に申込みが必要です。
■申込・問合先
　町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

■日　時　２月19日㈬
　　10：00～12：00
■場　所　総合センター
■対応者　町人権擁護委員
■問合先　町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談会

訪問販売や多重債務の相談もお受けします
■日　時　２月22日㈯
　　10：00～15：00
■場　所　役場雇用相談室
■対応者　司法書士　舟山健蔵氏
■問合先　町民税務課町民生活担当へ

2014おぐに農政フォーラム

■日　時　２月12日㈬　13：30～
■場　所
　白い森ショッピングセンターアスモ
　３階多目的室
■内　容
　＝　講　演　＝
「TPP交渉の行方と今後の日本農業」
　舟　山　康　江　　氏
「まちづくりにおける農業振興について」
　小国町長　盛　田　信　明
「新たな農業・農村政策」
　農林水産省東北農政局（予定）
　＝　パネルディスカッション　＝
テーマ「これからの小国の農業振興と地域社会は～新たな農政改革でどう活力を見つけだすか～」
■参加費　無料
　※事前申込み不要、先着100人まで
■問合先
　おぐに農政フォーラム実行委員会
　産業振興課農林振興室
　（☎６２－２４０８）へ

インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザの流行期を迎え、集団発生の感染拡大が懸念される季節となりました。インフルエンザは感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くのヒトへ感染が拡大します。

インフルエンザは、突然の高熱とともに、関節痛や筋肉痛など全身に症状があらわれるのが特徴で、のどの痛み、鼻水、せきなどの症状もみられます。

感染予防のため、次のことを心がけましょう。

①こまめな手洗いに努めましょう。
②外から帰った後はうがいをしましょう。
③咳が出るなどの症状がある、混み合った場所などではマスクを着用しましょう。
④こまめな換気をしましょう。
⑤十分な栄養・休養・睡眠を心がけましょう。
⑥適度な湿度（50～60%）を保ちましょう。

ノロウイルスによる食中毒を予防しましょう

ノロウイルスによる食中毒が発生していることから、県では「ノロウイルス食中毒注意報」を発令しました。（期間は２月28日まで）

ノロウイルスは、手指や食品などを介して経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛、軽度の発熱などを起こします。

健康なかたは軽症で回復しますが、乳幼児や高齢者では重症化することがあります。ノロウイルスによる食中毒を予防するために、次のことに気をつけてください。

①調理や食事前、トイレの後、オムツ交換後の手洗いの励行
②加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱（85℃・１分以上）
③まな板、包丁、へら、食器等の調理器具や流しは熱湯が有効

入札結果情報（平成25年12月21日～平成26年１月20日実施）

単位(円)

入札日	工　事　名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設消耗品購入その①	岩井沢	H26.3.25	7,122,000	やまと屋	5,404,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設消耗品購入その②	岩井沢	H26.3.25	7,112,000	やまと屋	5,396,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設消耗品購入その③	岩井沢	H26.3.25	1,029,000	電興㈱	780,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設備品購入その①	岩井沢	H26.3.20	7,668,000	ソック㈱	5,860,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設備品購入その②	岩井沢	H26.3.25	9,213,000	電興㈱	7,000,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設備品購入その③	岩井沢	—	—	—	不調
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設備品購入その④	岩井沢	H26.3.20	11,418,000	ソック㈱	8,730,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設備品購入その⑤	岩井沢	H26.3.20	7,368,000	㈱事務機センター青光社	5,634,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設備品購入その⑥	岩井沢	H26.3.20	10,942,000	㈱事務機センター青光社	8,373,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業施設備品購入その⑦	岩井沢	H26.3.25	6,961,000	電興㈱	5,300,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業厨房備品購入	岩井沢	H26.3.20	5,262,000	日本調理機㈱東北支店山形営業所	4,400,000
H25.12.24	平成25年度小国小学校改築事業厨房消耗品購入	岩井沢	H26.3.20	9,585,000	日本調理機㈱東北支店山形営業所	8,100,000
H25.12.25	道の駅急速充電器設置工事	小国小坂町	H26.3.20	6,870,000	ハイコー㈱	6,500,000
H25.12.26	平成24年度繰越事業町営バスターミナル解体工事	小国町	H26.3.20	6,244,000	大和建設運輸㈱	6,200,000
H25.12.26	平成25年度町営住宅幸町団地（48-2-35･36）解体工事	幸町	H26.3.14	3,449,000	㈱横川建設	3,000,000
H25.12.27	平成25年度歯科パノラマX線画像診断装置購入	あけぼの	H26.3.31	6,100,000	㈱カタギリ	5,900,000
H25.12.27	平成25年度歯科診療ユニット購入	あけぼの	H26.3.31	12,000,000	㈱カタギリ	10,900,000
H26.1.16	平成25年度小国小学校改築事業施設備品購入その③	岩井沢	H26.3.25	1,922,000	㈱メコム米沢支店	1,580,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

No.712
広報おぐに
2014-2-1
編集発行／小国町役場総務企画課　ホームページ http://www.town.oguni.yamagata.jp　携帯電話向けサイト http://www.town.oguni.yamagata.jp/m/index.html
〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地 TEL0238（62）2111㈹ FAX0238（62）5464
印刷／㈱青葉堂印刷

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

緑町	相馬 昊明（はる）	友樹
		愛沙
舟渡	川上 礼愛（らいあ）	秀弘
		宏美
小国町	新野 琴菜（ことな）	智光
		春香
あけぼの	遠藤 望叶（もか）	和幸
		カンナ
北堺	悠杏（ゆうあ）	和春
		千裕
小国町	伊藤 咲喜（さき）	喜子
		友

結婚おめでとうございます。

小国小坂町	鈴木	良典
飯豊町	青木	美香

おくやみ申し上げます。

栄町	大木俊男	（82）
若山	舟山庄伍郎	（81）
岩井沢	齋藤敏	（82）
綱木箱口	舟山茂	（88）
岩井沢	毛利春男	（76）
尻無沢	須貝清孝	（60）
あけぼの	横山七郎	（99）
長沢	安部初子	（83）
沼沢	井上幸夫	（86）
栄町	佐藤美子	（83）
小股	安部春次	（83）
北	梅津昭雄	（78）
北	保科吾朗	（76）
北	齋藤ミエ	（95）
大宮	鈴木てるシン	（91）
大宮	遠藤シン	（101）

人口のうごき

人口	男・・・4,141人	（−10）
	女・・・4,384人	（−2）
	計・・・8,525人	（−12）
世帯数	3,187世帯	（−5）

平成25年12月31日現在

～ふるさとへの想い～

シリーズ⑩『海外から見た小国町』

伊藤孝男（いとうたかお）さん

タイ・バンコク在住

玉川出身

私は現在、タイ王国に住んでおります。ＡＳＥＡＮの中心である首都バンコクに去年生産工場と販売会社のMarukome（Thailand）を設立し、代表取締役として着任致しました。

早いもので小国を離れ、“みそ”のマルコメ㈱に入社して20年以上が経過しました。“みそ”は健やかな身体を育むエネルギーとして見直されています。また日本人の長寿にも大きく貢献しているとも言われています。そんな“みそ”の力を、国境を越えて世界中の人に届ける為に積極的に取り組んでいます。

タイ北部には“チェンマイ”という小国町に似た町があり、訪れる度に故郷に想いを馳せております。四季の移り変わり・水の清らかさ・空気の清々しさ・・・遠く離れた今だからこそ、そんな故郷小国町の宝物にあらためて気付きます。町の発展と共に、豊かな自然を守ることが必要だと思います。

タイ王国へは、毎日20便以上の飛行機が日本から運航しています。皆さん、是非来てみてください。

編集後記

ぐるっと情報局でもお伝えしましたが、ソチ五輪の男子ハーフパイプに、平野選手が出場することになりました。おめでとうございます。今から7年前、私が横根スキー場でアルバイトをしていた時、当時小学校低学年だった平野選手はすでにハーフパイプを滑り、華麗な技を決めていたのを覚えています。頂点を目指すという明確な目標をずっと持っていたからこそ、若干15歳で代表に選ばれるほどの実力を身につけたのでしょう。競技が行われる当日は、みんなで平野選手を応援しましょう！

（伊藤）